

**3市2町による自治体クラウド「災害時等の相互支援に関する協定」を締結しました**



7月28日、県市町村会館会議室において、いばらき自治体クラウド（民間データセンター）による基幹業務システムの共同利用（の構成団体の常陸大宮市、那珂市、かすみがうら市、太子町、五霞町において「災害時等における業務の継続性を確保するための相互支援に関する協定」の締結式が行われました。

近年、全国では、地震や集中豪雨等による災害により、自治体において業務継続が困難となり、住民サービスが一部提供できなくなる事例が多発発生しています。

これまで県内の各市町村間では、災害時における対応等に関連する様々な相互支援協定を締結してきたところですが、住民情報や税務、国民健康保険などの基幹業務システムの運用に関する相互支援協定はありませんでした。

この協定は、共通のクラウドシステムを利用して基幹業務を行っているメリットを活かし、災害時に住民サービスが滞りなく提供できるように相互支援協定を締結したもので、全国においても自治体クラウドの先進的な取組の1つとなっています。



▲講演をいただいた総務省 稲原室長

**夏の交通事故防止県民運動が実施されました**



7月20日から31日までの期間、夏の交通事故防止県民運動が実施されました。7月21日には、元栗橋東京電力変電所前において、境地区交通安全協会五霞支部・五霞町交通安全母の会、境警察署の協力により、夏のキャンペーンが実施されました。

当日は、運転手さん約300名へ交通安全のチラシとウェットティッシュ等啓発品の配布を行い、交通ルールの遵守及び交通マナーの向上を呼びかけました。

また、期間中、防災行政無線を使い、五霞東・西小学校児童による広報活動を実施し、町内の交通事故防止を広く周知しました。

**利根川大花火大会が開催されました**

7月16日、町が後援している「利根川大花火大会」が、盛大に開催されました。

当日は、20,800発の花火が夜空を彩り、情報・防災ステーションごか付近に開設した観覧会場では、多くの来場者で賑わいました。



**節電街頭キャンペーンが実施されました**

7月20日、交通事故防止県民運動とあわせて、節電街頭キャンペーンが行われ、啓発品を配布し、節電の協力をお願いしました。